

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2011-86842(P2011-86842A)

【公開日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2009-240019(P2009-240019)

【国際特許分類】

H 01 F 19/00 (2006.01)

H 01 F 17/04 (2006.01)

【F I】

H 01 F 19/00 Z

H 01 F 17/04 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月19日(2012.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

端子台16は鍔部外方に突出して形成され、一方の端子台16Aの上面はカバー50を載置する平坦部17を有し、この平坦部17にはカバー50の後述する係止爪51を係止する溝部17Bを設ける。この一方の端子台16Aにはカバー50を載置しその上面にコモンモードコア40を載置する。

またカバー50を載置する一方の端子台16Aの高さは、カバー50を載置しない他方の端子台16Bの高さよりカバー50の厚み分低く形成している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

またノーマルモードコア30は、中鍔部14の凹部15内に一端30Aが挿入されこの一端30Aが凹部15内の開口底面15Aに突き当てられると共に、中鍔部14の凹部15の開口から突出する他端30Bがカバー50により押接されるため、ノーマルモードコア30のより正確な位置決めができる。

【手続補正3】

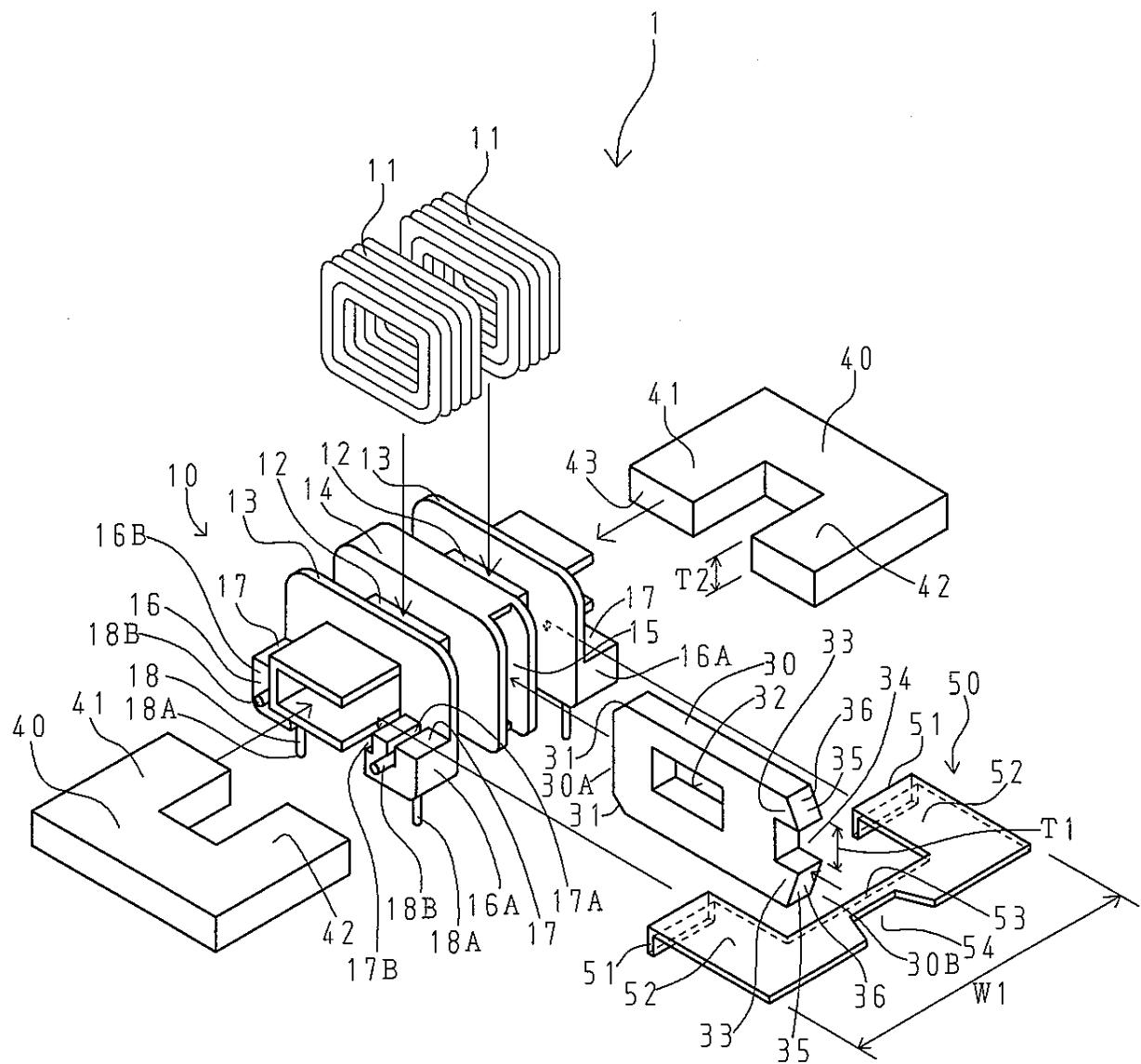
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】



【手続補正4】

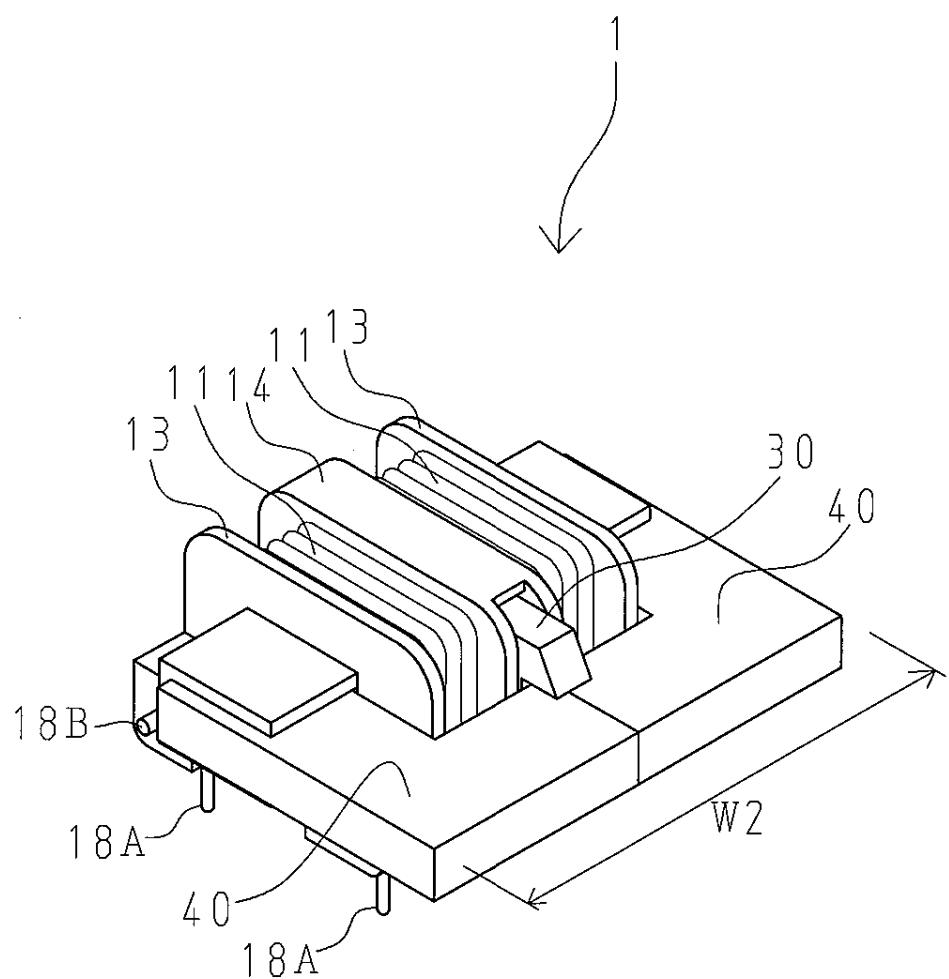
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

